

医療活動を報告

ル地震
ー地
パ大
ネ大
JICA派遣看護師ら

4月に起きたネパール大地震で、国際協力大で開かれた。

機構（JICA）の国地震は4月25日に発生し、8千人以上が死亡する大きな被害が出た。医療チームは1次隊（4月28日～5月11日）と2次隊（5月7～20日）で派遣され、事前登録した医療従事者ら計80人で構成。病院支援や外来診療のほか、

か、JICAの海外派遣チームとしては初めて手術も行った。

川崎医科大付属病院（倉敷市）の看護師鼠

会総合病院（岡山市）の看護師赤沢由子さんと薬剤師として活動した就実大薬学部江川孝教授は「日本方式を押しつけず、現地のやり方に沿うことも大切だと感じた」「職種にとらわれず、できることをすべき」などと述べた。学生や市民ら約50人が聴講した。

（伊丹友香）



ネパール大地震における医療活動報告
「被災地での医療活動」
「被災地での医療活動」
「被災地での医療活動」
「被災地での医療活動」

ネパール大地震での活動を紹介した報告会
尾弘恵さんは1次隊で参加し「山岳地帯で野営しながらの活動だった」と被災直後の厳しい現地の様子を説明。2次隊だった岡山済生